

# 1 この科目の構成について (改行は Alt + Enter)

教科	英語	科目	英語表現 I	単位	2 単位
対象コース	カレッジ	コース	対象クラス	1 年	2～4 組
使用教科書	Revised Vision Quest English Expression I Standard (数研出版)				
使用副教材	Vision Quest総合英語Ultimate (数研出版) Revised Vision Quest English Expression I Standard workbook (数研出)				

# 2 この科目の目標・学習内容・学習方法について (改行は Alt + Enter)

**学習目標：**この科目を学習して何を身につけてほしいのか

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養います。

**学習内容：**この科目で学習する大まかな内容

まずModel ConversationとListening Taskを通してダイアログの内容とそのレッスンで習得する内容を確認します。PronunciationやFunctionを通して発音や英語の元として持つ機能について学習します。これは自分が発信する場合にはもちろん、英語を聞き取る場面でも大変必要な知識となります。Build-upとそれに続くPracticeではそのレッスンの文法的側面から学習します。Use Itや準拠Workbookを通して文法に基づいた確認作業や運用練習をした後、Expressing, Activityを通して与えられた話題について新しく得た知識なども取り入れて、積極的にコミュニケーションを図る練習をします。

**学習方法：**この科目を学校と家庭でどのように学習すればよいのか

(1) 学校

習ったことを積極的に使う

授業内には活動の場が多く取り入れられています。今習ったことをその場で使うことで自分の身につけることができます。

メモの取り方に工夫をする

教科書は左が説明、右がPracticeなどの演習となります。板書だけでなく、間違ったところや重要なところは線を引いたり、メモをするなど授業を聞く際も積極的な姿勢が必要です

(2) 家庭

予習、復習を必ず行いましょう 予習は教科書のPracticeがそれにあたります。教科書のBuild Upや参考書総合英語Vision Questを参考に自分で解きましょう。また復習として準拠Workbookに取り組んで下さい。

# 3 この科目の評価方法について (改行は Alt + Enter)

**評価方法：**何を使って評価するのか

定期考査 60% パフォーマンス点 10% 課題提出 20% 例文小テスト 10%

評価における定期考査の割合

60 %

# 4 この科目の評価の観点について (改行は Alt + Enter)

**評価の観点：**この科目の学習内容はどのような基準で評価されるのか

(1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度

主に授業中の活動を通して評価します ①間違いを恐れず、積極的に表現しようとしている ②積極的に周囲とコミュニケーションを図ろうとしているかが評価の観点となります (10%)

(2) スピーキングやライティングを通して計る表現の能力

Use ItやExpressing, Activityでの発表を通して評価します (10%) ①英語らしい発音で発話している ②自分のことや与えられた課題について話す ③紹介するトピックを決めて、原稿を準備し発表する ④学んだ文法を使って、文章を書くことが出来る

(3) リスニングやリーディングを通して計る理解の能力

授業中の課題の点検や提出された課題の内容などを通して評価します。またListening Taskや周囲の活動の理解度なども評価の参考とします (10%)

(4) 言語や文化についての知識・理解

小テスト (10%) や定期考査 (60%) また授業中の課題の解答確認などを通して評価します。それぞれのページで学んだ文法を理解し、それを知識として定着させている

## 5 この科目の学習計画について (改行は Alt + Enter)

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	表	理	知	○△×
1	4	lesson 1 Let's have lunch together sometime. (3時間)	[話題] 紹介：Model Conversationで自己紹介を含む、初対面での自然な会話の流れを学ぶ。Expressingでは自己紹介や他者紹介ができる。 [発音] イントネーション：文の抑揚の基本を学び、伝えたい意味を考えた上で、平叙文や疑問文などを適切な抑揚で発話できる。 [機能] 相づちを打つ／聞き直す：頻出表現を学び、相手の発話に適切な相づちを打つことができる。また、聞き取れなかったとき曖昧なままにせず、聞き直すことができる。 [文法] 文の種類：肯定文・否定文・さまざまな疑問文や命令文を適切に作り、それに応答することができる。感嘆文で驚きや感動を表すことができる。	●	●	●	●	
	5	lesson 2 Are you interested in Japanese anime?(3時間)  第1回定期考査	[話題] 興味・関心：Model Conversationで興味や関心を表す表現を多く学ぶ。Expressingでは自らの興味・関心を紹介し、感想やおすすめの作品を伝える。 [発音] リズム：文強勢の基本を学び、内容語を強く読み、機能語を弱く読む練習を通して、強弱のリズムをつけて発話できる。 [機能] 言いかえる／話題を変える：頻出表現を学び、難解な言葉やわかりにくい表現を言いかえることができる。また、話題を変えて、新しい話題を切り出すことができる。 [文法] 文型と動詞：5つの文型の構造を理解し、単文を正確に作ることができる。また、紛らわしい自動詞と他動詞の使い分けができる。	●	●	●	●	
	6	lesson 3 I'm going to Okinawa with my family.(3時間)	[話題] 旅行：Model Conversationで予定を尋ねたり伝えたりする会話を学び、Expressingでは旅行のプランを作ってペアで話したり発表したりできる。 [発音] 母音：母音の発音を学び、似た発音の語を区別して聞き取れる。また、その語を含む文を正しい発音で発話できる。 [機能] 計画する／予定する：頻出表現を学び、予定を伝えることができる。 [文法] 時制：基本時制の概念をイメージとして把握し、伝えたいことを適切な時制・進行形で発話できる。	●	●	●	●	
	7	lesson 4 I hear you've joined the soccer team.(3時間)  第2回定期考査	[話題] スポーツ：Model Conversationでサッカーについての会話からスポーツに関する表現を学ぶ。Expressingでスポーツ活動の経験を尋ねたり伝えたりできる。 [発音] 子音：子音の発音を学び、似た発音の語を区別して聞き取れる。また、似た発音の語を含む文を正しい発音で発話できる。 [機能] 原因・理由を述べる：頻出表現を学び、さまざまな表現を使って原因や理由を述べるができる。 [文法] 完了形：現在・過去・未来完了形の概念をイメージで把握し、現在形や過去形と区別する。それぞれの用法と共に使われる語句を理解し、適切に文を作れる。	●	●	●	●	

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK	
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×	
2	8	lesson 5 Can you tell me what ammitsu is like?(4時間)	[話題] 食事：Model Conversationでレストランでの会話から特有の表現を学ぶ。Expressingではレストランでの食事の注文ができる。 [発音] カタカナ語：日本語化した英単語を、英語として正しく発音できる。 [機能] 許可を求める／依頼する：頻出表現を学び、丁寧に相手に許可を求めたり依頼したりすることができる。それに対し、肯定・否定どちらでも答えられる。 [文法] 助動詞：助動詞それぞれの意味や用法を学び、適切に使って話者の気持ちや判断を表すことができる。	●	●	●	●		
	9	lesson 6 I'm so glad I can see the Sydney Opera House.(4時間)	[話題] 観光：Model Conversationで観光地での案内人との会話の流れを学び、名所について説明を聞いて感想を表せる。Expressingの活動で観光地の案内ができる。 [発音] 数字の発音：時間・日付・価格などで用いられる、発音が紛らわしい数字の読み方を学び、適切な発音・アクセントで発話できる。 [機能] 喜ぶ／驚く：頻出表現を学び、喜びや驚きの気持ちを表すことができる。また、それに応じた相づちを打つことができる。 [文法] 受動態：受動態のさまざまな文の作り方を学び、必要に応じて使うことができる。感情表現など、日本語と英語の違いに気を付けて表現することができる。	●	●	●	●		
	第3回定期考査								
	10	lesson 7 It's very nice of you to say so.(4時間)	[話題] 交際：Model Conversationでパーティーに招待された時やプレゼントを渡す時の会話の流れを学ぶ。Expressingの活動でプレゼントへのお礼を伝えることができる。 [発音] アクセント：アクセントを間違えやすい単語を、正しく発音できる。 [機能] 感謝する／謝罪する：頻出表現を学び、相手に感謝や謝罪の気持ちを適切に伝えることができる。また、それに対する返答ができる。 文法 不定詞：不定詞のさまざまな用法を学び、意味上のS+Vを含む文を作ることができる。慣用表現を用いて伝えたいことを1文で表すことができる。	●	●	●	●		
		lesson 8 How about going to see a musical?(4時間)	[話題] 娯楽：Model Conversationで娯楽への誘い方を学ぶ。Expressingでは趣味について話し合ったり、友人を遊びに誘うメールを書いたりできる。 [発音] つながる音：英語では前の語の語尾の子音と次の語の語頭の母音がつながって発音されることが多い。つながる音の聞き取りや発音に慣れる。 [機能] 勧誘する／申し出る：頻出表現を学び、相手に対して勧誘したり提案したりできる。また、適切に了承したり断ったりできる。 [文法] 動名詞：動名詞のさまざまな用法を学び、動名詞句を用いて多様な文を作ることができる。	●	●	●	●		

年間学習計画：この科目でいつ・何を・どのように学ぶのか				重視する評価の観点				CHECK
学期	月	学習の項目	学習の内容	関	思	技	知	○△×
2	11	lesson 9 I'm for school uniforms. (4時間)	[話題] ルール：Model Conversationで学校の制服について賛成・反対意見を述べ合う会話を学ぶ。Expressingでは制服について自分たちの意見を述べるができる。 [発音] 変わる音：文中で語がつながって音が変わることを学び、頻出の〈子音+/ /〉を聞き取り、自然に発音できる。 [機能] 賛成する／反対する：頻出表現を学び、あるトピックや相手の主張に対して自分の考えをはっきりと述べ、賛成・反対を表明できる。 [文法] 分詞：名詞を修飾する用法、補語になる用法を使うことができる。分詞構文を適切に用いて表現することができる。	●	●	●	●	
		第4回定期考査						
3	12	lesson 10 How do you spend Christmas? (4時間)	[話題] 文化：Model Conversationで日米の冬の行事について紹介し、文化の違いについての会話を学ぶ。Expressingでは日本文化や行事の紹介ができる。 [発音] 聞こえなくなる音：語尾の子音が次の語との関係で発音されなくなるものを学ぶ。英語ではよく語と語がまとまって発音されることを知り、その聞き取りができる。 [機能] 説明する：頻出表現を学び、語句の意味を説明したり物事の理由を明らかにしたりできる。 [文法] 関係詞：関係詞を用いた複文を作り、語句を限定したり補足説明を加えたりできる。また、複合関係詞を用いて譲歩の意味を表すことができる。	●	●	●	●	
	1							
2		lesson 11 Did you watch the debate on TV last night? (4時間)	[話題] 社会問題：Model Conversationで読書の必要性についての会話を学ぶ。Expressingでは日本の出生率の低下について自分の意見を表明できる。 [発音] 文の中での強調：対比される語や強調される語は強く読まれるというルールを学び、会話の流れを考えた上で適切な抑揚で発話できる。 [機能] 意見を述べる／主張する：頻出表現を学び、断定的な言い方や控えめな主張などの適切な表現を選んで自分の意見を表明することができる。 [文法] 比較：複数のものを比較することで、物事の状態をわかりやすく伝えることができる。	●	●	●	●	
		第5回定期考査						
3		lesson 12 I wish it were possible to get it back. (4時間)	[話題] 悩み事：Model Conversationで悩み事についての会話におけるアドバイスの仕方を学ぶ。Expressingでは悩んでいる人への助言や提案ができる。 [発音] アメリカ英語とイギリス英語：アメリカ英語とイギリス英語で異なる発音を持つ語を聞き、どちらの発音でも聞き取れる。 [機能] 助言する／提案する：頻出表現を学び、相手の状況や自らの立場に応じて適切なニュアンスで助言や提案ができる。また、それに対する応答ができる。 [文法] 仮定法：仮定法を用いて事実と違うことや実際には起こり得ないことを述べるができる。	●	●	●	●	
		Follow-up	年間の復習及び発展の内容を確認します。					